



平成30年5月15日

各 位

会 社 名 昭和ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 重田 衛
(コード番号 5103 東証第二部)
問合せ先 取締役財務総務担当 庄司 友彦
(TEL. 04-7131-0181)

個別業績の前年実績値との差異に関するお知らせ

当社は、個別業績予想につきまして重要性の観点から公表を行っておりませんが、平成30年3月期の個別業績値と前期実績値に差異が生じたので、以下の通りお知らせいたします。

記

1. 平成30年3月期個別業績と前期実績との差異（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績(A)	300百万円	▲178百万円	▲178百万円	▲2.51円
当期実績(B)	396百万円	▲375百万円	▲615百万円	▲8.14円
増減額(B-A)	95百万円	▲196百万円	▲436百万円	▲5.63円
増減率(%)	31.87%	—	—	—

2. 前期実績との差異理由

平成30年3月の実績につきましては、売上高は95百万円増加し396百万円となりました。これは主に当社の持分法適用関連会社からの経営指導料収入の増加によるものであります。

経常利益につきましては、上記大幅増収となったものの、子会社の支援機能を拡大することで販管費が増加したことや、昨今の当社グループの置かれる経営環境、及び当社グループ各会社の経営状況を勘案し、主に当社グループ会社に対する貸付金やその他債権に対し保守的な観点から貸倒引当金（275百万円）を設定したことが減益要因となり、前期比196百万円の減益の▲375百万円となりました。

また、四半期純利益につきましては、前期と比較し436百万円減益となり、▲615百万円となりました。当期は、上記経常利益の減益理由に記載した貸倒引当金の設定（275百万円）に加え、当該貸倒引当金の設定に呼応し、関係会社株式評価損（251百万円）を計上したことにより以上のような結果となりました。

以上